

## 産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS 案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS 案作成規程に基づき、当該 JIS 案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS 案の作成開始要件”を満たすことの事前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、次ページ以降の JIS 案作成対象テーマについて、理由（必要性）及び期待効果、JIS 案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS 案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS 素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS 案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS 作成予定一覧表として JSA ウェブサイト掲載いたします。

※選定基準 3（産業標準化の利点・欠点）各コードの内容につきましては、  
下記リンク先の 5～6 ページにてご確認いただけます。

「産業標準案等審議・審査ガイドライン」

URL <https://www.jisc.go.jp/jis-act/pdf/shingishinsa-guideline.pdf>

# 産業標準案作成対象テーマ一覧(制定)

認定機関	産業標準作成委員会	制定/改正/廃止	規格番号 (制定の場合は、仮の番号)	JIS案の名称	JIS案の英文名称	制定する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	10 金属・無機材料	制定	Z3270	ろう(ろう付用)	Brazing filler metals	ろう付に用いるろうについては、現在、ろうの主原料ごとにJIS Z 3261など8規格のJISが規定されている。ろう付はモノづくりの基盤技術であり、新規開発材料及び新製品に対応するろう材開発が世界的に継続している。ろう材開発の進展により、市場の実態と規格の規定内容との乖離が大きくなっている。また、国際規格である ISO 17672 (Brazing- filler metals) が2024年に改訂され、新規に開発されたろう材などが規格化され、この国際規格とJISとの乖離が更に生じている状況にある。なお、現行のJISは主原料ごとに個別の製品規格として規格化しているが、国際規格で一つの規格に統合されたため、対応するISO 17672と同様に一つの規格とすることが合理的であることから、現行の個別規格を廃止し、新たな規格として制定することが求められている。このような実態を踏まえ、国際規格と整合させ市場の実態に合致した規格化を図るため、JISを制定する必要がある。この新たなJISの制定に伴ってJIS Z 3261～JIS Z 3268 (JIS Z 3263を除く)をこの規格に統合するため、この規格の制定と同時にこれらの規格を廃止する。 JIS Z 3263については、強制法規へ引用されているため、この新たなJISが周知できるまで存続し、後に廃止を検討する。	この規格を制定することによって、製品の開発及び製造が容易になり、かつ、海外との取引の円滑化に寄与することが期待できる。また、ろう材やろう付製品の市場の混乱が防げるだけでなく、正しい認知が定着することにより、この市場のさらなる拡大に寄与することが期待できる。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・種類 ・寸法 ・化学成分 ・化学分析 ・ろうの表記 ・供給条件	Z 3261, Z 3262, Z 3264, Z 3265, Z 3266, Z 3267, Z 3268	ISO 17672:2024 Brazing – Filler metals	MOD	第2条の該当号: 1(種類、寸法、化学成分)  対象事項: ろう材	法律の目的に適合している。	利点: オ、キ  欠点: いずれも該当しない。	—	国際標準をJIS化する	一般社団法人日本溶接協会のWG	2026年4月

## 産業標準案作成対象テーマ一覧(廃止)

認定機関	産業標準作成委員会	制定／改正／廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	10 金 属・無機 材料	廃止	Z3261	銀ろう	Silver brazing filler metals	この規格は、ろう付けに使用する銀ろうについて規定したものであるが、この規格の対応国際規格のISO 3677で規定されていたがISO 17672に移行され、この国際規格は近年の技術開発による新たなろう材を追加するなどのために2024年に改訂された。JISでは、ろう材の主原料ごとに個々の個別規格として規定しているが、国際規格同様に一つの規格体系として規格化することが合理的であることから、JIS Z 3261～JIS Z 3268 (JIS Z 3263を除く)を一つの規格に統合するとともに近年開発されたろう材を追加するなど、国際規格との整合を図るとともに技術の実態に即した対応を含め、新たに別規格として制定することとした。これに伴い、新たな規格の制定と同時にこの規格を廃止する必要がある。	ISO3677:1992 Filler metal for soft soldering, brazing and braze welding – Designation	MOD	一般社団法人日本 溶接協会のWG	2026年4 月
JSA	10 金 属・無機 材料	廃止	Z3262	銅及び銅合金ろう	Copper and copper alloy brazing filler metals	この規格は、ろう付けに使用する銅及び銅合金ろうについて規定したものであるが、この規格の対応国際規格のISO 3677で規定されていたがISO 17672に移行され、この国際規格は近年の技術開発による新たなろう材を追加するなどのために2024年に改訂された。JISでは、ろう材の主原料ごとに個々の個別規格として規定しているが、国際規格同様に一つの規格体系として規格化することが合理的であることから、JIS Z 3261～JIS Z 3268 (JIS Z 3263を除く)を一つの規格に統合するとともに近年開発されたろう材を追加するなど、国際規格との整合を図るとともに技術の実態に即した対応を含め、新たに別規格として制定することとした。これに伴い、新たな規格の制定と同時にこの規格を廃止する必要がある。	ISO3677:1992 Filler metal for soft soldering, brazing and braze welding – Designation	MOD	一般社団法人日本 溶接協会のWG	2026年4 月

## 産業標準案作成対象テーマ一覧(廃止)

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国 際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	10 金 属・無機 材料	廃止	Z3264	りん銅ろう	Copper phosphorus brazing filler metals	この規格は、ろう付けに使用するりん銅ろうについて規定したものであるが、この規格の対応国際規格のISO 3677で規定されていたがISO 17672に移行され、この国際規格は近年の技術開発による新たなろう材を追加するなどのために2024年に改訂された。JISでは、ろう材の主原料ごとに個々の個別規格として規定しているが、国際規格同様に一つの規格体系として規格化することが合理的であることから、JIS Z 3261～JIS Z 3268 (JIS Z 3263を除く)を一つの規格に統合するとともに近年開発されたろう材を追加するなど、国際規格との整合を図るとともに技術の実態に即した対応を含め、新たに別規格として制定することとした。これに伴い、新たな規格の制定と同時にこの規格を廃止する必要がある。	ISO3677:1992 Filler metal for soft soldering, brazing and braze welding – Designation	MOD	一般社団法人日本 溶接協会のWG	2026年4 月
JSA	10 金 属・無機 材料	廃止	Z3265	ニッケルろう	Nickel brazing filler metals	この規格は、ろう付けに使用するニッケルろうについて規定したものであるが、この規格の対応国際規格のISO 3677で規定されていたがISO 17672に移行され、この国際規格は近年の技術開発による新たなろう材を追加するなどのために2024年に改訂された。JISでは、ろう材の主原料ごとに個々の個別規格として規定しているが、国際規格同様に一つの規格体系として規格化することが合理的であることから、JIS Z 3261～JIS Z 3268 (JIS Z 3263を除く)を一つの規格に統合するとともに近年開発されたろう材を追加するなど、国際規格との整合を図るとともに技術の実態に即した対応を含め、新たに別規格として制定することとした。これに伴い、新たな規格の制定と同時にこの規格を廃止する必要がある。	ISO3677:1992 Filler metal for soft soldering, brazing and braze welding – Designation	MOD	一般社団法人日本 溶接協会のWG	2026年4 月

## 産業標準案作成対象テーマ一覧(廃止)

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国 際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	10 金 属・無機 材料	廃止	Z3266	金ろう	Gold brazing filler metals	この規格は、ろう付けに使用する金ろうについて規定したものであるが、この規格の対応国際規格のISO 3677で規定されていたがISO 17672に移行され、この国際規格は近年の技術開発による新たなろう材を追加するなどのために2024年に改訂された。JISでは、ろう材の主原料ごとに個々の個別規格として規定しているが、国際規格同様に一つの規格体系として規格化することが合理的であることから、JIS Z 3261～JIS Z 3268 (JIS Z 3263を除く)を一つの規格に統合するとともに近年開発されたろう材を追加するなど、国際規格との整合を図るとともに技術の実態に即した対応を含め、新たに別規格として制定することとした。これに伴い、新たな規格の制定と同時にこの規格を廃止する必要がある。	ISO3677:1992 Filler metal for soft soldering, brazing and braze welding – Designation	MOD	一般社団法人日本 溶接協会のWG	2026年4 月
JSA	10 金 属・無機 材料	廃止	Z3267	パラジウムろう	Palladium brazing filler metals	この規格は、ろう付けに使用するパラジウムろうについて規定したものであるが、この規格の対応国際規格のISO 3677で規定されていたがISO 17672に移行され、この国際規格は近年の技術開発による新たなろう材を追加するなどのために2024年に改訂された。JISでは、ろう材の主原料ごとに個々の個別規格として規定しているが、国際規格同様に一つの規格体系として規格化することが合理的であることから、JIS Z 3261～JIS Z 3268 (JIS Z 3263を除く)を一つの規格に統合するとともに近年開発されたろう材を追加するなど、国際規格との整合を図るとともに技術の実態に即した対応を含め、新たに別規格として制定することとした。これに伴い、新たな規格の制定と同時にこの規格を廃止する必要がある。	ISO3677:1992 Filler metal for soft soldering, brazing and braze welding – Designation	MOD	一般社団法人日本 溶接協会のWG	2026年4 月

## 産業標準案作成対象テーマ一覧(廃止)

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は, 現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は, 現行JISの英文名 称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国 際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	10 金 属・無機 材料	廃止	Z3268	真空用貴金属ろう	Precious brazing filler metals for vacuum service	この規格は、ろう付けに使用する真空用貴金属ろうについて規定したものであるが、この規格の対応国際規格のISO 3677で規定されていたがISO 17672に移行され、この国際規格は近年の技術開発による新たなろう材を追加するなどのために2024年に改訂された。JISでは、ろう材の主原料ごとに個々の個別規格として規定しているが、国際規格同様に一つの規格体系として規格化することが合理的であることから、JIS Z 3261～JIS Z 3268 (JIS Z 3263を除く)を一つの規格に統合するとともに近年開発されたろう材を追加するなど、国際規格との整合を図るとともに技術の実態に即した対応を含め、新たに別規格として制定することとした。これに伴い、新たな規格の制定と同時にこの規格を廃止する必要がある。	ISO3677:1992 Filler metal for soft soldering, brazing and braze welding – Designation	MOD	一般社団法人日本 溶接協会のWG	2026年4 月